

6月に入り、学校ホームページでは、校外学習、集会、授業、地域での活動など、五小の様子を随時お知らせしてきました。今回は、6月中旬までに掲載した記事の中から、主な出来事を紹介します。

なお、6月中のその他の記事については、7月発行予定の五小だよりで改めてお届けする予定です。



私たちのつつじを未来へ！

- 4・5・6年生が子房摘み実施 -

6月5日(金)。
今日は、4年生・5年生・6年生が、つつじが岡公園で「子房摘み」の活動を行いました。
子房摘みとは、花が咲き終わった後にできる部分を摘み取る作業です。つつじを大切に育て、次の花の季節へつなげていくための大切な活動です。
子どもたちは、つつじの枝や葉の様子をよく見ながら、一つ一つ丁寧に作業を進めていました。初めは少し難しそうにしていたが、やり方が分かると、集中して取り組む姿が見られました。
当日は、保護者ボランティアの皆様にもご参加いただき、子どもたちの活動を温かく支えていただきました。友達と声をかけ合いながら作業を進める姿や、教えていただいたことを生かして取り組む姿から、学年らしい落ち着きと前向きさが伝わってきました。
つつじが岡公園の美しいつつじは、多くの方の手によって守られています。今回の活動を通して、児童は、花を楽しむだけでなく、地域の自然や文化を自分たちも支えていくことの大切さを感じることができました。



ぐんま昆虫の森へ！

- 見て、聞いて、考える3年生 -

6月9日(火)。今日は3年生が社会科見学で「ぐんま昆虫の森」に出かけました。
子どもたちは、広い園内の自然の中で、昆虫や植物の様子をじっくり観察しました。虫取り網を手にしながら、「どこにいるかな」「これは何だろう」と、目の前の自然に進んで関わろうとする姿が見られました。
教室で学ぶことも大切ですが、実際に自然の中に入り、自分の目で見て、自分の手で確かめる経験は、子どもたちの学びを大きく広げてくれます。
友達と声をかけ合いながら活動する中で、発見したことを伝え合ったり、新たな疑問をもったりする様子も見られましたよ！
また、職員の方のお話を聞く場面では、児童が真剣に耳を傾け、さらに知りたいことを自分から質問する姿もありました。中には、昆虫の体のつくりやくらし方について、よく見て、よく考えたからこそ生まれる質問もあり、3年生の学び意欲の高さが伝わってきました。
本物に触れながら、見つめる楽しさ、考えるおもしろさ、質問して学びを深める大切さを感じることができた校外学習となりました。



筆算のしかたを伝え合う！

- 理由を言葉にして -

6月10日(水)。2時間目。
2年2組の教室では、算数『ひき算の筆算』について学習が進んでいました。
この時間は、位をそろえて筆算を書きながら、答えが一けたになるひき算のしかたを考えました。
子どもたちは、先生が黒板に示した大きな拡大ノートを見ながら、自分のノートにも同じように筆算を書き、計算の順序を確認していました。
また、授業の途中には、友達に筆算のしかたを説明する時間もありました。「どこから計算するのか」「どうしてその答えになるのか」を、ノートを見せながら伝え合う姿が見られました。
算数では、答えを出すだけでなく、自分の考えを言葉にして伝えることも大切ですね！友達と説明し合いながら、位に気を付けて考える力を少しずつ高めている時間になりました。



緑を守り、行動する心を育てる！

- 結団式・登録式 -

6月10日(水)。
今日の朝行事で、緑の少年団結団式と青少年赤十字登録式が行われました。
まず、緑の少年団結団式では、環境委員会の児童が中心となり、緑を守ることや身近な環境を大切にすることの意味を全校に伝えました。学校の中の自然や地域の環境に目を向けることは、地球を守る第一歩にもなります。みんなで、しっかりと意識していきたいですね！
続いて行われた青少年赤十字登録式では、児童会代表委員会の児童が中心となり、「気づき、考え、実行する」という考え方について、全校で共有しました。どちらの活動も、身近な生活や環境をよりよくするために、自分ができることを見つめる大切な出発点となりました。
環境委員会が示してくれた「緑を守る活動」も、青少年赤十字の「人のために自分から行動する姿勢」も、五小が大切にしている「やさしく、かしこく、たくましく」子どもの姿につながっています。一人一人が、環境のため、仲間のために、自分にできることに気づき、考え、行動していく…。その積み重ねを大切にしながら、これからの学校生活で実践していきたいですね！



問いと答えを見つけよう！

- 文章のつながりを学ぶ -

6月10日(水)。3時間目。1年1組の国語では、「つぼみ」の学習に取り組みました。
この時間は、文章の中にある「問い」と「答え」を見つける学習です。
子どもたちは、教科書をよく見て、ノートに書き、声に出して読みながら、「これは何のつぼみでしょう。」という問いと、「これは、はすのつぼみです。」という答えのつながりを確認していました。
授業の途中では、立って音読したり、問いを読む人と答えを読む人に分かれたりしながら、同じ文章に何度も向き合いました。そうやって…読む、書く、聞く、話す活動を通して、文章の中の大切な言葉に気付いていきます。
45分間、教科書に戻り、ノートに返り、自分の手元で確かめながら学ぶ一年生の姿が、とても頼もしく感じられる国語の時間となりました。



プール開き集会！

- 安全で楽しい水泳学習へ -

6月11日(木)。
今日の朝行事に、プール開き集会が行われました！
運動委員会の児童が中心となり、プールでのきまりや安全に過ごすための注意点を、スライドや実演を交えながら分かりやすく伝えてくれました。
水泳学習では、楽しく活動することはもちろん、自分の体調を確認すること、先生の話をよく聞くこと、友達と安全に過ごすことが大切です。そのために、今日の集会で確認した約束を一人一人が意識し、安心して学習に向かえる準備をしていきます。
さあ、いよいよ今年度の水泳学習が始まります。安全で楽しい水泳学習が進められるよう、ご家庭でも、体調確認や持ち物の準備等についてご協力をお願いいたします。



見て、聞いて、確かめた工場のお仕事！

- 5年生がSUBARU・AGFを見学しました -

6月12日(金)。5年生が社会科見学に出かけました！
午前はSUBARU群馬製作所矢島工場、午後はAGF関東株式会社を訪れました。
工場では、製品ができるまでの工程や、働く方々の工夫について説明を聞きました。次々と動く機械や製造ラインを興味津々の様子で見つめ、驚いたことや初めて知ったことに、素直な反応を見せる子どもたち。教室で学んできたことを、実際の工場で確かめる貴重な時間となりました。
また、工場の方への挨拶はもちろん、バスの運転手さんにも、感謝の気持ちを込めてしっかりと挨拶することができました。見学時の態度やマナーからも、5年生らしい成長が感じられました。
昼食は、ぐんま子どもの国でいただきました。保護者の皆様から心こもったお弁当を、友達と楽しそうに見せ合ったり、会話を弾ませたりしながら、幸せそうに味わっていました。朝早くから心のこもったお弁当をご準備いただき、ありがとうございました。
SUBARU、AGFの両工場から、うれしいお土産もいただきました。しかし、今日一番のお土産は、子どもたちの心に残った驚きや発見かもしれませんね。ぜひご家庭でも、今日の「土産話」をゆっくりと聞きながら、子どもたちが見つけた驚きや発見と一緒に味わっていただければと思います。



トマト農園で発見いっぱい！

- 地域の農業にふれ、学びが広がりました -

6月16日(火)。2年生が生活科の学習で地域のトマト農園を見学しました。
ハウスの中では、大玉トマトやミニトマトがたくさん実っており、子どもたちは農家の方の説明を真剣に聞きながら、色や形、大きさの違いなどを熱心に観察していました。
「こんなにたくさんできるんだ！」「甘そう！」「などの声も聞かれ、友達と気付いたことを伝え合いながら学びを深める姿が見られました。
見学の最後には、農家の方のご厚意で、ミニトマトを試食させていただきました！採れたてのトマトのおいしさに、子どもたちは思わず笑顔に。また、お土産としてトマトまでいただき、うれしそうに持ち帰る姿が印象的でした。
今回の見学を通して、子どもたちは地域の農業や、食べ物ができるまでの工夫にふれることができました。温かく迎えてくださった農家の皆様、見学の機会をつないでくださった区長様、そして活動を支えてくださった6名の保護者ボランティアの皆様により感謝申し上げます。
ご家庭でも、子どもたちが見つけた「トマト農園のひみつ」をぜひ聞いてみてくださいね。きっと、甘くて楽しい学びの時間が、もう一度広がると思います。